

令和3年度 第4回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和4年1月19日(水) 13:30 ~ 14:56

会議方法 Google Meetによるオンライン会議

出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 林田, 平井, 宮崎, 吉岡, 渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 小嶋, 藪田, 坂本, 原田の各委員

陪席者 田中監事, 山根副学長, 後藤副学長, 松浦副学長, 安延副学長,
山口副学長, 岸本地域学部長, 中村医学部長, 坂口工学部長

議事要旨の承認

前回(令和3年11月22日開催, 令和3年度第3回)の議事要旨を承認した。

議 題

1. 第4期中期目標(原案)・中期計画(案)について

資料1に基づき, 第4期中期目標(原案)・中期計画(案)の内容, 各評価指標の詳細及び文部科学省への提出期限について説明があり, 審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

- ◇ 評価指標である「特定臨床研究」とは具体的にどのようなものか質問があり, 人を対象とした新しい薬剤等の効果を検証する研究である旨回答があった。
- ◇ オンライン診療予約システム「紹介統合WEBシステム」の鳥取県全医療機関への早期普及の取り組みについて, 将来的に診療内容の共有化まで視野に入れているのか質問があり, 附属病院は鳥取県以外の近県からも多くの患者が来院することから, 大学病院を中心としたWEBシステムの運用を行っているが, 将来的には鳥取県内の医療機関をつなぐネットワーク「おしどりネット」との相互乗り入れを可能とすることで, 診療内容の共有を行っていきたい旨回答があった。
- ◇ 各評価指標の達成状況など長期的な進捗管理の手法について質問があり, 年度計画は廃止されたが学内では毎年モニタリングを実施する予定である旨回答があった。
- ◇ 数理・データサイエンス教育の取り組みについて, リテラシーレベルでの教育計画はあるのか質問があり, 令和3年度から「データサイエンス入門」というリテラシーレベルの全学共通科目を実施しており, 令和4年度より全学部全学科必修化を予定している旨回答があった。

2. 国立大学法人鳥取大学業務方法書の変更について

資料2に基づき、国立大学法人法の一部改正に伴い、当該改正事項に沿って本学の業務方法書の変更を行うことについて説明があり、審議の結果承認した。

3. 令和3年度第2次学内補正予算（案）

資料3に基づき、追加配分可能額及び執行計画案（令和3年度実施事業）について説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 令和4年度国立大学関係予算（案）の概要

資料4に基づき、令和4年度における国立大学関係予算案の概要として、「成果を中心とする実績状況に基づく配分」の配分指標変更、各国立大学のグループ分け見直し及び本学の運営費交付金予定額等について報告があった。

そ の 他

- ◇ 資料5に基づき、最近の本学の地域貢献の取組みについて説明があった。
- ◇ 資料6に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料7に基づき、令和3年度第5回を令和4年3月14日開催予定である旨説明があった。